



町長日誌 No.41

町長日誌の第41号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月13日(水) AM7:40

今日は暖かく小雨が降り道路はつるつる、車の運転には要注意日です。あまり言いたくは無いのですが、『しかし、月日の経つのは早いです。もう12月も半分、あと18日で今年も大晦日、本当に早い。』と思わず独り言を言いたくなる今日この頃です。今朝の新聞に“EPA交渉入り日豪首脳が合意”と載っていました。牛肉・米・砂糖・小麦・乳製品これらを称して『重要品目』と言うのですが、とにかく豪州は生産費が安く、安い農産物を売らなければテレビ・車などが買えない。日本も農産物だけでなくウランや天然ガスなどを安定的に輸入したい。一方、豪州も逆にマレーシア等のほうが農産物価格は安く関税撤廃を要求されているといった具合で、「一番安い人だ～あれ？」ゲームを行っている様に見えます。

昭和30～40年代世界中に安くて質の良いトランジスターなどを売り始めた時代は遠い昔で、今や世界中から安いものを買いきり、農地を荒らし、核兵器やテロより恐ろしい物が、実は「食料を止められる」事だと云う事に為政者達はいつになったら気が付くのか、ため息を吐くのは私ばかりでは無いと思います。

11月23日(木) 勤労感謝の日

何故か、西紋地域の広域一般ゴミ処理の検討委員会が札幌市で開催されました。4月24日紋別市で開催された検討委員会には「素案」が示され約50億円規模の焼却処理施設建設費が必要となり、紋別市65%・4町村35%の負担割合案が示されましたが、町村側から「紋別市のごみ量は全体の75%を超えるので建設費もその程度をお願いしたい」と申し上げましたが、結論が出ず、今日の開催になってしまいました。しかし、7ヶ月振りに再開された会議では紋別市長から「財政上の理由から紋別市としては65%の負担も難しく、5市町村で焼却施設を建設運営することは出来ない。しかし、札幌市の産廃処理業者から企業提案があり、この業者に一般ゴミ処理を紋別市が出資をした第3セクター方式で建設運営したいので町村にも参加してほしい」とのお話がありました。町村長からは厳しい意見が出されましたが、産廃処理は5市町村行政として行なわないとの申し合わせに反することから検討委員会は解散し、それぞれ持ち帰って紋別市提案を検討協議する事となりました。町としては慎重に中身を検討して町民の皆さんにもご意見をお伺いして対応したいと考えています。

12月6日(水)

滝上町役場で西紋町村会が進めている「広域連携」について会議を行い①税務事務②国民健康保険事務③介護保険事務④老人保健(医療)事務⑤医療費助成事務の5項目を重点項目として「広域連合事業推進委員会」を立ち上げました。「広域連合」は新たな自治体をつくるに等しく、今後、具体的検討に入り費用対効果についても中長期で考え、事務処理上ますます利用度合いが増え費用もかさむコンピューターシステム等もネットワークをつくることで安定化と経費削減が図れればと考えて、4町村が知恵をしぼりながら進めてまいります。

子供の頃、バタークリームでしたがクリスマスのケーキが食べたくても買ってもらえず、お菓子やキャンディーの詰まった赤い靴が駅の売店にぶら下がっていて、親に買って貰っているよその子が羨ましかったことをこの時期になると思い出します。今は私が孫にプレゼントする立場になりましたが、本当に子供や孫の将来を考える時、「食べられない・与えられない」辛さ、悔しさを経験させることも教育かな？と思ったりもする今日この頃です。

さて、この号が届く頃は、平成19年のお正月と思います？ 例年年賀状については広報「新年のあいさつ」に代えさせて頂いていますので、お許しください。

今年も大変お世話になり、ありがとうございました。新しい年が良い年でありますようお願いして、では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。